



令和6年度 高山市立西小学校 学校経営の全体構想

◎高山市小・中学校教育の方針と重点 【方針】 郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための 資質・能力を育む 【重点】 挑戦し続けるたくましさの育成	【本校の教育課題】 ☐自己肯定感・有用感の獲得（心の豊かさ・達成感&貢献感） ☐創造力、表現力、粘り強さの育成（挑戦するたくましさ） ☐生活・学習・思春期の確立（メタ認知・自立力&自律力）
【保護者・地域の願い】 ☐元気にあいさつする子、自分の思いを堂々と伝える子 ☐地域に誇りを持ち、地域を大切にする子	【児童の実態】 ☐明るく素直で仲間と協力して活動できる ☐学年関係なくかかわる優しさがある ■苦手に挑戦すること、一人で勝負することに弱さがある

【学校の教育目標】

心ゆたかに たくましく 生きる子

【経営の方針】

「みんなの笑顔あふれる学校」を創り出す

【育てたい資質・能力】

「自立力」 自ら考え、判断し、行動する力

【合言葉】

「スマイル」 ～自分から動く～

学校と地域の協働を創り出す学校運営協議会

《生活の確立》 ◆「自分から」考えて動く ①よりよい生活習慣づくり - やり抜く力を高める「掃除」 - 家庭と連携を密にした「ニーズ対応」 ②よりよい判断力づくり - 自己決定する場の設定（行為の意味・価値を考える） - 多様な見方や考え方に触れる場の設定 「仲間や家族、地域の人から学ぶ」 ③よりよい集団（関係）づくり - 相手を大切にする「あいさつ」 - 居場所づくりと集団生活向上を図る取組 「学級活動、児童会活動」 - 多様な人と触れる場の設定 「コスモス班・保育園や地域との交流等」	《学習の確立》 ◆「自分から」学びを深める ①学ぶ姿勢づくり <主体的な学び> - 相手を大切にする「話す・聞く」 - 学ぶ必然のある課題の設定 - 自分の学びを振り返る場の設定 ②豊かな表現力づくり <対話的な学び> - 納得解を探る仲間学びの設定 - 自己決定して学びを深める場の設定 「スクランブル交流、ICT活用」 - 学びの成果を発信する場の設定
《思春期の確立》 ◆「自分から」願いを持って動く（笑顔を創り出すスマイルプロジェクト） ①「なりたい自分」（創造・貢献・自己実現する自分）づくり - 係や委員会、当番活動の充実 - 自分を見つめる場の設定（PDCAサイクルを回す） - 児童に任せる場の設定「企画運営：学級活動・児童会活動・コスモス活動・行事等」 - よさを自覚する場の設定「自己・他者・相互評価：よさみつけ活動、大人からの評価」 ②地域の一員としての自覚づくり - 地域行事への積極的な参加の推進 - ふるさと教育の充実 - 高山ミニ観光大使プロジェクトの推進（高山の魅力発信：英語でも）	

子どもたちの笑顔を育み、可能性を広げるPTA